

平成30年度 後期 保護者アンケートの結果について

向春の候、皆様にはますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

さて、見出しの「保護者アンケート」の結果をお知らせします。この結果を踏まえ、保護者の皆様の貴重なご意見をこれからの教育活動に役立てていくよう尽力いたしますので、より一層のご協力をお願いいたします。

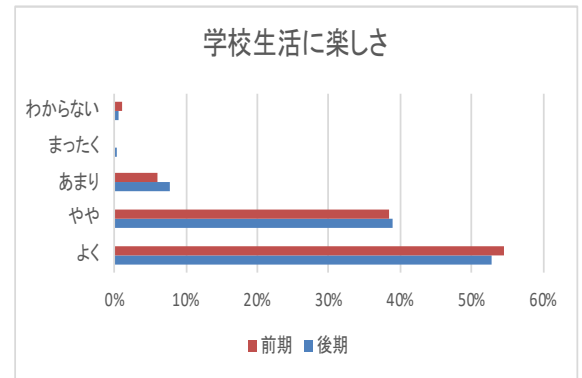
1. 学校でのようすについて

(1) 「お子さんは、学校生活に楽しさを感じていますか。」

「よく」と「やや」を合わせた割合は前期から大きな変化がありませんでした。引き続き90%以上のご家庭から肯定的なご意見をいただくことができました。

しかし、「よく」の割合が減っていること、「あまり」の割合が増えていることから、全体的に評価が低くなったと捉えることができます。

学校生活に楽しさを感じられることは、充実した学校生活の根幹となるものと考えております。学習・生活・行事・部活動、あらゆる方面から来年度の指導の方向を再検討し、どの子ども楽しさを感じることできる学校を目指してまいります。

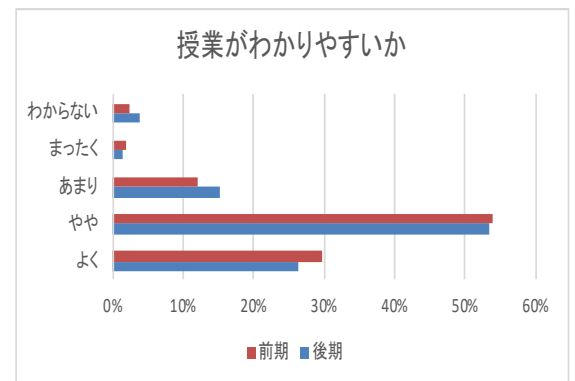


(2) 「お子さんは、授業が分かりやすいと言っていますか。」

「よく」「やや」を合わせた割合はおよそ80%でした。また、「まったく」の割合はわずかに減少しました。

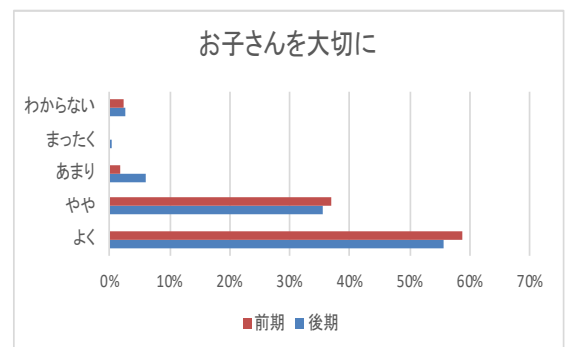
しかし、「よく」が4%減り、「あまり」が3%増えるなど、全体としては評価が低くなったと捉えることができます。

「附属の新しい取り組みとても良いと思います。表現する力・言葉で伝える力がつく授業や取り組みが充実すると嬉しいです。」というご意見をいただいた一方で、「授業（勉強）で分からなかった・分からないことがあった時、先生に聞きにくいと何度か子供から話が出ました。家庭学習の定着ができていない我が子がもちろんいけないのですが、話ができる・しやすい環境ではないのだと感じました。」というご意見もいただきました。誰もがわかる授業づくりを目指し続けることはもちろん、学習会の実施や家庭学習の働きかけ等を通して、生徒たちが学習内容を確実にわかるまで努力できる環境づくりを進めてまいります。



(3) 「学校は、お子さんを大切にしていますか。」

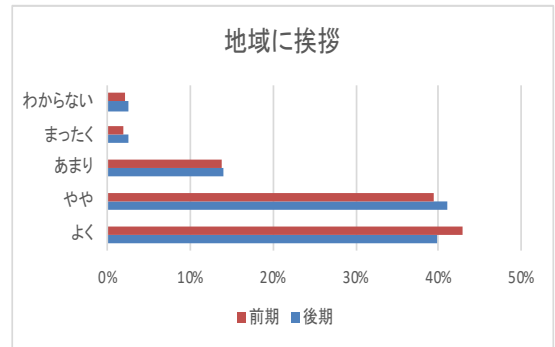
「よく」「やや」を合わせた割合は91%で、前期と比べて3%減少しました。また、「あまり」の割合が前期より4%増加しました。後期は、生徒との二者懇談、保護者の皆様ともお話をさせていただいた三者懇談をはじめ、心のアンケート等を定期的実施し、一人一人が抱える不安を把握し、生徒に寄り添った指導を進めてまいりましたが、アンケート結果からも、今以上にお子さんが安心して学校生活を送れる体制を整えていく必要があると考えております。これまで以上に、ご家庭との連携を図りながら、お子さんにとって何が大切かということを考えて指導を進めてまいります。



2. 家庭でのようすについて

(1) 「お子さんは、地域や近所の方に会ったときも挨拶していますか。」

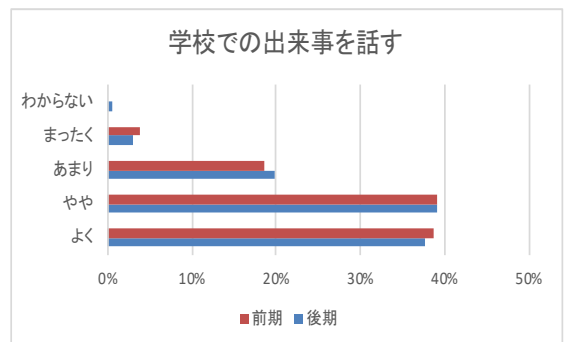
「よく」「やや」を合わせた割合は81%で、前期と比べて、大きな変化は見られませんでした。「まったく」「あまり」は、わずかですが増加しました。朝の登校時に校門付近にいる職員や生徒とあいさつをしたり、廊下ですれ違った時にあいさつをしたりする姿は多く見られます。学校内における素晴らしい姿を、地域社会等の他の場面でも発揮できるようにしていくことを今後の目標として、生徒会等で活動を活発にしていきたいと思います。ご家庭においても、進んで挨拶ができるよう、お声がけをお願いいたします。



(2) 「お子さんは、学校での出来事を家族に話しますか。」

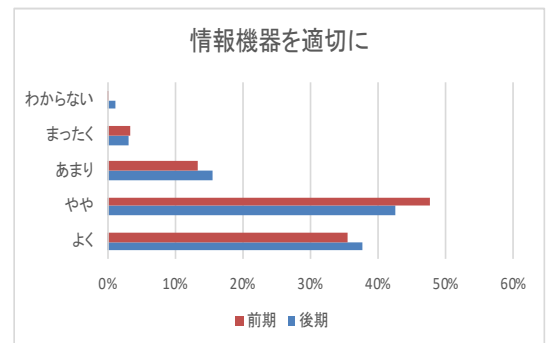
「よく」「やや」を合わせた割合は、大きな変化が見られませんでした。「まったく」の割合はわずかに減少しました。

前期から引き続き、お子さんが学校での出来事をご家族によく話しているということがわかります。中学生という多感な時期ですが、子どもたちとのコミュニケーションを大切にいただいているからこそだと思います。学校としても、大切な出来事については、ご家庭と連絡を密にして、お子さんに関わる情報を共有していきたいと考えております。今後も、ご家庭での会話を大切にいただき、お子さんとの会話から気になることがございましたら、学校へご連絡いただきますようお願いいたします。



(3) 「お子さんは、パソコンや携帯電話、ネット接続可能なゲーム機器等の情報機器を適切に使用している。」

「よく」「やや」を見ると、「よく」の割合はわずかに増加しましたが、二つ合わせた割合が81%で、前期と比べてやや減少傾向でした。「あまり」「まったく」の割合はわずかですが増加していることが気になります。学校教育の場においても、情報機器の重要性は高まっており、情報機器の扱い方だけでなく、モラルやリテラシーについても継続して指導をしているところです。前期にもお願いをしましたが、引き続き、利用時の約束を作り、定期的に見直す場を設けたり、お子さんの利用状況を確実に見届けたりして、子どもたちが大きなトラブルに巻き込まれないよう、ご家庭での指導をお願いいたします。



3 その他

1・2の主な結果以外にも、学校に対するご意見・ご要望を数多くいただきました。前期と同様に、学年主任が各学年のものを取りまとめ、全学年のすべての記述について職員間で共有をしました。

いただいたご意見の中には、「先生方は子供達を信じ、子供達の自主性を重んじながら、子供達のやる気を持ち上げる言葉をかけていただいていると感じ、大変感謝しています。子供も、自分でできることは自分でやろうとする心、仲間を思いやる心が育っていることを誇りに思います。」や、「小さな問題は多々あるとは思いますが、学校全体がしっかりしており、生徒たちも『附属生』という自覚を持っているのか、環境が整っており、勉強に集中できる環境なので、この学校に通えて良かったと思います。」といった、学校の教育活動を肯定的に捉えていただいたものがありました。しかし、アンケート結果からもわかるように、学校生活に対して心配なことを抱えていらっしゃるご家庭があることも真摯に受け止め、今後もご家庭と連携をとりながら子どもたちにとってよりよい教育を目指してまいります。